

a 学校教育目標	「自ら伸びる とともに伸びる 子どもの育成」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 【ビジョン】(自校の将来像)	自分を愛し、夢を語る児童の育成 小中一貫教育で、15の春に【幸崎思考力】を発揮し自律的に学ぶ子どもを育成する学校。そして、保護者・地域に信頼される学校。
----------	------------------------	----------------------	----------------------------------	---

評価計画						自己評価				改善方策		学校関係者評価	
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g目標値	10月	2月	i達成度	j評価	k結果と課題の分析	n改善方策	l 評価		mコメント
					h達成値	h達成値					イ	ロ	
確かな学力	○学ぶ楽しさを感じ、自律的に学ぶ児童の育成 【標準学力調査偏差値平均55以上】	教務・研究部	【授業改善】 ①単元の始めに、児童と共に単元計画表を作成 ②子どもたちの自律的な学びを支える学習環境の設定 ③自分の学びを振り返るためのR80の充実 ④STB(幸崎トレジャーBOX→働かせたい見方・考え方)を掲示	単元末テスト	平均得点率85%以上	82%	96	B	1学期単元末テストの結果 算数科到達率82% 「学習集団アンケート(9月)」21項目中、肯定的評価80%以上91% ＜成果＞ 単元計画表の作成により、見通しをもった学習する力の向上 自律的な学ぶことができる学習環境の設定により、算数を楽しいと感じる児童の増加 継続したR80の取組により、学んだことを自分の言葉でまとめる力の向上 STB(幸崎トレジャーBOX)の活用により、授業中の発表や振り返りで表現する力の向上 ＜課題＞ 授業の中で児童がICTを活用する場面の設定 児童が考えを整理したりまとめたりする場面の設定	【授業改善】 ①見通しをもった学習につながる単元計画表の活用 ②自律的に学ぶことのできる学習環境の設定 ③児童が考えをまとめられるようなR80の質的向上 ④獲得させたい見方・考え方を明確にしたSTBの積極的な活用 ①～④の取組を継続・進化させるとともに、ICTの更なる活用を図る。	○		・子どもたちに分かりやすい工夫がされている。分かってくると楽しくなる。進んで取り組めるというプロセスを踏まれているように思う。結果も出ていると思う。 ・その学年も皆が自分の意見を発言できる空気があり、各々が自分の考えを主張できていて活気があった。 ・子どもたちの学ぶ喜び、意欲を大切に。高学年になるほどICT活用力に大きな差が出てくるので、その点に配慮した指導が良いと思う。
			【個別指導の充実】 ①授業における個別支援の充実 ②基礎学力の定着のため補充学習・幸崎検定テストの実施 ③認知機能強化トレーニング(コグトレ)	児童アンケート	肯定的評価80%以上	91%	113		補充学習において、基礎的な問題、活用型の問題の実施 個別の支援が必要な児童の実態を把握 ＜成果＞ 1学期単元末テスト60%以下の児童への個別指導 コグレタイムによる認知機能の向上 ＜課題＞ 論理的に考える力、思考・判断・表現力に課題がみられるため、補充学習や授業の中で繰り返し行う	【個別指導の充実】 ①補充学習による組織的な個別指導 ②思考力・判断力・表現力を高めるプリントの継続的な実施	○		・楽しんで学習するために先生がいろいろと考えているのがすごいと思う。子どもたちにも届いていると思う。 ・学習したことを自分の言葉でR80でまとめる力が定着している事はすごいと思った。単元計画表が改善され、ページも記載されており、家庭でも予習する姿が見られる。
		○ICTの活用 【プレゼン能力の向上・タイピング検定・情報モラル教育】	マイプレゼンの実施	年3回以上	100%	100	A	全学級1・2回スライド等のプレゼンテーションソフトを使った発表を実施 ＜成果＞ 研修による教職員のICTの活用の技能向上、意欲向上 ICTの活用場面の増加 校務DXの推進 ＜課題＞ タイピング練習や家庭学習での活用の時間の設定等を通した情報活用能力の向上 アプリを含めたクロームブックの使い方等、情報モラル教育の充実	【ICT活用能力の向上】 ①タイピング練習の継続 ②ICTを活用した家庭学習の実施 ③各学級による情報モラル教育の継続	○			
豊かな心	○認め合い、支え合える集団づくり 【i-check 散布図Ⅰ(個人の心の安全)満足群へ】	生徒指導・保健部	○目標に向けて、仲間と共に考動・協働できる子どもを育てる。 【i-check 散布図Ⅰ(個人の心の安全)満足群へ】	i-check 散布図Ⅰ(個人の心の安全)	i-check 散布図Ⅰ(個人の心の安全) A・B領域の児童80%以上	90% 100%	113% 125%	A	i-check 散布図Ⅰ(個人の心の安全)A・B領域の児童80%以上全校平均90%。 児童アンケートによる肯定的評価100% ＜成果＞ 学校アンケートと学級チャレンジをリンクさせた各学年の目標設定による集団意識の醸成 児童自らが企画・運営して主体的に取り組んだ縦割り班活動 異学年で交流する取組において親和的な関係性の育成 ポジティブ行動支援の考えの共有化 ＜課題＞ i-checkでは肯定的評価80%以上は達成しているものの、支援が必要な児童の存在が明らかになった。自己肯定感をもてるよう取り組んでいくとともに、学級集団づくりにも生かしていく。	【学級経営の充実】 ①調査結果分析からの1人ひとりの悩みや弱みに必要な支援の構築 ②どの子にも機会を与えて授業で生かす等、すべての児童に出番をつくる取組 ③主体的に学び、学び合う楽しさを実感できる授業づくり ④学級でのポジティブ行動支援の取組	○		・このまま苦手意識をもたず、学習していってほしいと思う。 ・学校(授業)が楽しいと思っている子どもが多いのはとても良いことだと思う。クラスの中でも意見が言い合える雰囲気(環境)作りができていると思う。 ・子どもたちの状況を見る限り、集団作りは良い方向にいており、安心・満足の程度も良好。 ・一人一人の悩みや弱みへの支援は必要な取組だと思う。分からないことが分からないと発言できない子どもへの気配りもお願いしたい。
			◎縦割り班・異学年を軸とした自治的な学び 【児童アンケート】								児童アンケート	肯定的評価80%以上	
健やかな体	○運動に対する意欲の向上 【個人記録の結果向上】	生徒指導・保健部	○楽しみながら体を動かすことで体力を向上させる。 【個人記録の結果向上】	個人記録の結果	向上した児童の割合90%以上				楽しみながら体を動かすことで、運動に対する意欲の向上を図った。 ＜成果＞ スポーツフェスティバルで楽しみながら体力の向上を図る 体力テストにおける、目標設定カードを作成 結果をレーダーチャートにして個々にフィードバック 次年度に送っていくことをシステム化 ＜課題＞ 男子では全国平均を下回った項目はなく、女子では、50m走が全国平均を下回った。 全国平均を上回ったが、相対的に立ち幅跳びとソフトボール投げに課題が見られた。	【体力の向上】 ①運動保健委員会を中心に行うなわとび朝会やマラソン月間など、運動習慣の確立に向けた児童主体の取組の実施 ②目標を明確にした体力テスト(2回目)の実施 ③体育の授業におけるサーキット運動の実施やICTの活用	○		・個人カードは良いアイテムだと思う。 ・体力向上に向けて様々な取組もすばらしいと思う。継続をお願いしたい。 ・基礎的・全面的な体力の向上も必要だが、好きな・得意な種目を一つ作ってあげてほしい。 ・前回は、全国平均を下回った項目が多かったが、着々と体力がついてきているので、今の取組を続けてほしい。 ・学校でのマラソンや縄跳びなどの取組は、保護者としてうれしいので継続してほしい。
			○コミュニティスクール・小中一貫による教育活動の充実を図り、郷土を愛する心を養う。 【コミュニティスクール】			児童アンケート	自分や友達、学校や地域に対する愛着に関するアンケート項目の肯定的評価80%以上	97%	121		A	コミュニティスクールを活用した教育力の向上 地域資源を活用した地域学習(南山先生、水辺・海辺教室、芋の苗植え、七夕まつりなど) 自分や友達、学校や地域に対する愛着に関するアンケート2項目中、肯定的評価97% ＜成果＞ 地域と学校が一体となった教育活動の計画・実行 地域の方への感謝の手紙で気持ちを視覚化 児童は、地域の人々の優しさの良さを実感 ＜課題＞ 地域の特色(自然、歴史など)について具体的に言える児童が少ない	
	○チーム幸崎として、業務改善を図る。 【時間外勤務時間目標総時数達成率100%】	総務部	○在校時間を短縮する。 【時間外勤務時間目標総時数達成率100%(平均値45時間)】	時間外勤務時間数	年間平均45時間以内の職員100%	100%	100	A	時間外勤務時間数が45時間以内の職員 100% ＜成果＞ ICTを活用した業務の効率化・成績処理週間の設定 退校時刻目標の設定・個性を発揮できる職務に就く ＜課題＞ 行事の前や各主任等は勤務時間が長くなる傾向にある	【職員のチーム力の向上とさらなる業務改善】 ①各主任を中心とした部の計画的な運営(業務の平準化) ②業務の可視化による在校時間の短縮 ③終わりを意識したタイムマネジメント ④ICTの更なる活用	○		・地域の方々の協力があってありがたい。いつでも気軽に相談できるような関係性をこれからも築いていけたらと思う。 ・学校の雰囲気は良いと思う。協力は惜しみません。みんなで学校づくりに取り組みましょう。 ・1年生の数名の子どもが手を振ってくれた。4月から地域の皆さんとの交流の結果で、社交性が養われてきていると思われる。 ・今後も地域と一緒に育ってほしいと思う。地域でも自然や特色を話していきたいと思う。先生方の努力に感謝。